

ブラックキヤツツ十年の歩みを振り返って見て



ブラックキヤツツ代表・前監督

川口俊郎

十年一昔と言ふ言葉がありますが、早や当クラブも十年が過ぎようとしています。

思い返せば平成十二年三月に、櫻井前監督（当時八十三歳）がオールドスターズの試合に出られないメンバーの受け皿として立ち上げたチームで、ユニークな発想から人跡未踏の分野である、練習チーム（対外試合は基本的に無し）という事で発足しました。最初はメンバーも少なかったのでオールドスターズのメンバー（約十名）の協力により毎週木曜日（午前中）を練習日としてスタートしました。

初めの二年間は、櫻井監督の指揮の基に少しずつメンバーも増え定着してきました。

三年後に監督も年齢ゆえに、退任されました。その後すぐに、後継者として川口、猪爪、佐藤が指名を受けました。

今後の運営をして行くのに協議制が良いと考え、新たに幹部として、山本、平田、土井、本多各氏に協力を得る事となりました。各氏の協力により、クラブの運営も順調に進み、野球だけでなく皆での親睦、親交そして交流を深め結束が一段と強くなつたと確信しています。

これからの方として、お互いうまくまとまっていく上には、次ぎの事を心がけて頂ければ、如何かと思います。

- ・愛される事
- ・褒められる事
- ・役に立つ事
- ・必要とされる事